

強者の戦略

暑い日が続きますがお元気ですか？講習中はやせつつあるチーム・スパルタンの北林です。

さて、問題にはチャレンジしていただきましたでしょうか。この問題に似た感覚を必要とする問題がいくつかあります。例えば、92年の一橋大学でも字数はちがいますが、発想は非常に似ています。さまざまな大学を受験される方にチャレンジしていただきたい問題です。

あ、そうそう、東大や京大形式などの模試をうけるときには時間配分を考えなければいけませんね。今後、通史の学習を一通り終えたら、過去の問題に取り組んでいかれると思いますが、過去の問題に取り組む際には時間配分も考えた上で、何分で単語の問題を解き、何分で論述をしあげるのか、など自分の一番解きやすい形を考えておいて下さいね。

○いきなり書かない！論述は初めの15分が勝負！
論述問題は、その問題を見てからの15分が大切になります。論述はむやみに知識を並べたり、自分の論を勝手に展開して書けばよいのではなく、出題者が聞きたいことに全力で答えなければいけないのです。問題文をよく読み、問題に課せられた条件に当てはまることを書くのです。例えば「13世紀」とあれば、まずは「1201年から1300年」までを想定して当てはまる内容を探し出さなくてはなりません。それに「文化」を問われているのに「政治」のことばかり書いてはいけません。15世紀と知っているのに16世紀のことばかりでもいけません。出題者から与えられた条件をきっちりくみ取った解答作成をしなくてはなりません。

だからどんな字数であってもいきなり書き始めるのは厳禁！問題をみた最初の15分が大事で、まずは（自分流でいいので）“文章構成のメモ・下書き”をつくることから始めるのです。これが出来ればムダも足りないところも省けます。ここが勝負の分か

れ目です。研伸館の教室授業やE-Lectureではここに重点をおき、指導しています。

○長い時間、広い地域を俯瞰する目線をもとう
では解説していきます。
まずは問題をよくみてみましょう。

・時期が「紀元4世紀から8世紀に至る」とあります。ということは、301年から800年を想定して考えるということになります。ぴったり301年から始まる出来事を答えられるとはかぎりませんが、ひとまずは想定して出来事を探さることが必要です。今回は800年までを考えます。ということは、…カール大帝の戴冠、というのは思い浮かびますね。

・場所は「地中海地域」。西欧だけでも東欧だけでもだめです。地中海全体をとらえましょう。アフリカの地域も考えてくださいね。イスラームの勢力があります。

・ききたいのは、政治的変化。政治的、といわれているので、政治体制や領土やどんな国があったかなどを考えましょう。

・そして「変化」の問題。変化ということは、「前」と「後」を記す必要があります。「前」を書かないと「後」を書いてもどう変化したかわからないんですね。

4世紀は専制君主政のローマ帝国が地中海世界を支配

→8世紀は西欧がフランク王国、東欧がビザンツ帝国、地中海南岸がイスラーム勢力、になることを明記しましょう。

・「その統一と分裂に重点を置き」とあるので、4世紀から8世紀に至る間に統一や分裂を考えましょう。

4世紀は？

5世紀は？

6世紀は？

強者の戦略

7世紀は？

8世紀は？

と、世紀毎にくぎっていけば分裂も統一も描くことができますね？以上のことをふまえて簡単な地図を書いて考えるとやりやすいですよ。

《解答例》

専制君主政のもと地中海地域を統一していたローマ帝国は4世紀末東西に分裂、476年に西ローマは滅び、以後領内にはゲルマン国家が乱立した。6世紀に東ローマ皇帝ユスティニアヌスは地中海再統一を図ったが、死後領土は縮小。7世紀イスラム国家が成立してビザンツ帝国を攻め、8世紀には北アフリカ・イベリア半島を征服、フランク王国に侵入するもトゥール＝ポワティエ間の戦いに敗北。その後フランク王国ではカロリング朝が成立し、後にカール大帝が西欧の大部分を統一した。地中海地域は皇帝教皇主義をとりテマ制をしいたビザンツ帝国、皇帝権と皇帝権が併存したフランク王国、政教両面の長カリフを頂点とするイスラム国家による3勢力が併存した。(300字)